

熊本県立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(水俣市)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
1	水俣市	宝川内	宝川内臼太鼓踊り	ほうがわちうすだいこ おどり	水俣市無形民俗文化財 昭和53年3月25日	旧4月8日	新屋敷神社	大正12年宝川内道路完成祝いの披露を最後に途絶え、昭和53年1月に復活。【2001】 《演目》庭入、さんば楽、人形足、せき、さをじき、十三べ。《構成》大将(旗)、鉦(内側の円)6人、太鼓(外側の円)14人、唄2人。《扮装》大将は陣笠、太鼓と鉦は鍬型の兜を被る。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
2	水俣市	久木野寒川	寒川の棒おどり		水俣市無形民俗文化財 昭和47年10月24日	不定期		明治の初めに鹿児島県の加世田から伝わったという【2001】 《構成》唄4～5人、踊りは男8人、女8人。《演目》棒踊りと長刀(男)と鎌(女)の踊りの2つがある。《由来》棒踊りは70～80年前に鹿児島県の加世田から、長刀と鎌の踊りは佐敷(芦北)から伝わったという。【1991】				
3	水俣市	古里・田頭・有木	古里俵おどり		水俣市無形民俗文化財 昭和47年10月24日	10月21日	住吉神社	豊年祭りの出し物として古里、田頭地区の人たちによって伝えられている。【2001】 《構成》唄1人、三味線2～3人、太鼓1人、踊り子15人。《由来》日向の国で踊られていたものが、人吉の田野を経て明治26年頃古里に伝わったという。【1991】				
4	水俣市	湯出	湯出棒おどり		水俣市無形民俗文化財 昭和47年10月24日	11月3日	湯出神社	湯出地区にはこのほかに大森、大窪にもあったが今は踊られていない。活動休止【2001】 《演目》六尺棒と鎌の打ち合い、三尺棒の打ち合い。《構成》旗持ち2人、歌い手3人、踊り手は6人1組で3組。【1991】				
5	水俣市	湯出字頭石	頭石臼太鼓踊り	かぐめいしうすだいこ おどり	水俣市無形民俗文化財 昭和47年10月24日	不定期		湯の鶴温泉から湯出川支流沿いに約3キロ離れたところの頭石という地区に伝えら【2001】 《構成》太鼓10人、鉦10人(太鼓、鉦ともに鍬型の兜を被る)、旗持ち1人、唄1人。《由来》平家の落人が頭石に住み着き、始めたものという。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
6	水俣市	袋	袋棒おどり		水俣市無形民俗文化財 昭和47年10月24日	11月2日 11月3日	袋天満宮	唄に合わせて、6尺棒と3尺棒を使って踊る。【2001】 《演目》片刃、三次棒。《特色》雨乞い、虫送りで踊られたものだという。【1991】				
7	水俣市	招川内	招川内古代虚無僧踊り		水俣市無形民俗文化財 平成6年3月25日	不定		明治の頃、招川内の住民が習い覚えたものと伝えられている。【2001】 《構成》踊り子10～16人、三味線1人、太鼓1人、拍子木1人。唄は三味線の人が歌う。【1991】				
8	水俣市	宝川内	宝川内志賀段七踊り	ほうがわちしがだん しちおどり	水俣市無形民俗文化財 平成6年3月25日	不定期		武家専横に対する農民の抵抗の踊り。【2001】 《構成》唄1人、三味線2人、太鼓1人、踊り15人。《由来》大分県から来た虚無僧により伝えられたものだという。【1991】				
9	水俣市	大森	大森の棒踊り			不定		《演目》源ぜ踊り、留踊り、くどき。《構成》旗持ち1人、歌い手2人、踊りは6人1組で3組。《特色》平家の落人が始めたと言い、また、薩摩の示す源流の流行を汲むともいう。【1991】				
10	水俣市	野川	野川棒踊り			不定		《構成》六尺棒12人、鎌6人、唄1人。《特色》鹿児島県出水郡荒崎から伝わったという。【1991】				
11	水俣市	越小場字日当野	日当野棒踊り			不定		《構成》六尺棒(男)12人、鎌(女)6人、唄(男)3人。【1991】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
12	水俣市		2001水俣ハイヤ節	みなまたはいやぶし		9月30日	湯出小	水俣病患者らが創作し、公害の苦難から人々が立ち上がる様子などを表現した踊り。2000年、患者の杉本栄子さん(2008年死去)と東京の民俗芸能団「荒馬座」が協力し、伝統の水俣ハイヤをアレンジして作った。振付には、不知火海を泳ぐ魚や揺れるワカメ、漁師が網を引く動きなどが盛り込まれている。水俣病から人々が立ち上がる様子も表現されている。同小では5年前から毎年体育祭の演目に取り入れている。【2012.9.6読売】				
13	水俣市	中心商店街	水俣YOSAKOIまつり	みなまたよさこいまつり		9月7日	中心商店街	九州・山口の24チーム約200人が華麗な演舞を披露。色鮮やかな衣装を纏った各チームが、テンポの良い曲と独創的な振付で競演。【2008.9.8熊日】				
14	水俣市		ひよげ踊り	ひよげおどり		年1回	水俣市文化会館	元気な水俣を全国に発信しようと水俣市の市民有志が「素人芸人ひよげ踊り」の公演と観光物産展を千葉県市原市で開く。「ひようきん」などの意味があるひよげ踊りは、水俣で結婚式や宴会を盛り上げる芸から発展した。各地の一座が集まって開かれる年一回の大会では、観客が1000人を超えるほど市民に親しまれている。【2008.6.29熊日】				